

平成23年度病虫害発生予報第3号の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 水稲では、イネミズゾウムシ、ヒメトビウンカ及び縞葉枯病の発生が多くなっています。また、田植え後に本田に放置された補植用取置き苗はいもち病の伝染源となるので、早期の除去を徹底してください。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類、なしの黒星病及びぶどうのべと病の発生が多くなっています。
- ・ 茶では、チャノコカクモンハマキの発生が多くなっています。

病虫害防除に関する留意点

- ・ 1か月予報（6月10日気象庁発表）では平均気温が高いと予報されており、今後、梅雨時期を迎え曇りや雨の日が多くなることから、病害の発生が多くなることが考えられます。
- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるため、天候に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。
- ・ 東日本大震災の影響等により作付けが困難となった地域では、ほ場の管理が行えないため、雑草の繁茂等により作物を加害する病虫害の発生が考えられます。このため、周辺で作付けが行われる地域では、ほ場観察を綿密に行い、状況に応じて防除ができるよう病虫害の発生状況に注意してください。

水稲

- ・ **いもち病**の発生は、「平年並」と予想されます。
1か月予報（6月10日気象庁発表）では平均気温が高いと予報されており、今後、梅雨時期を迎え曇りや雨の日が多くなり、いもち病の発生に好適な気象条件となります。いもち病が急激に発生する場合がありますので、注意が必要です。
また、田植え後に本田に放置された補植用取置き苗はいもち病の伝染源となるので、早期の除去を徹底してください。

- ・ **イネ縞葉枯病**の発生は、関東、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
イネ縞葉枯ウイルスを媒介する**ヒメトビウンカ**の発生は、南関東の一部地域で「多い」、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
イネ縞葉枯ウイルスを媒介するヒメトビウンカの保毒虫率が高い値になっている地域及び前年にイネ縞葉枯病が多発した地域においては、ヒメトビウンカの防除を適期に実施してください。なお、本害虫は薬剤抵抗性を獲得している個体群が確認されているので、都道府県から発表される情報を参考に薬剤を選択してください。
また、発病株は伝染源となるため早期に抜き取り、適切に処分してください。
- ・ **ニカメイガ**の発生は、北関東、北陸、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は局所的に多発する場合がありますので、本田の観察を行い、発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **イネミズゾウムシ**の発生は、北東北及び北陸の一部地域で「多い」、南関東、東海、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。また、**イネドロオイムシ**の発生は、北関東の一部地域で「多い」、北東北及び北陸の一部地域で「やや多い」と予想されます。
育苗箱施用剤による防除を実施していない場合は、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **セジロウンカ**は、6月5日に鹿児島において初飛来が確認されました。
都道府県から発表される今後の飛来情報に留意するとともに、本田での発生状況に十分注意してください。

麦

- ・ **赤かび病**の発生は、南東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の防除は適期を逃さず行うことが重要です。梅雨時期を迎え、防除適期に降雨が続くことが多くなりますが、降雨の合間に、確実に防除を実施してください。
また、都道府県からの情報や、栽培品種の赤かび病抵抗性を考慮して、必要に応じて追加の防除を実施してください。
なお、収穫は適期に確実にを行い、赤かび病菌の増殖を防止するため、収穫した麦は可能な限り速やかに乾燥してください。

麦の種類	最初の防除を行う生育時期
小麦	開花を始めた時期から開花期まで
二条大麦	穂揃い期の10日後頃
六条大麦	開花を始めた時期から開花期まで

野菜・花き

露地栽培

- ・ 気温の上昇に伴い病害虫の動きも活発になるので、ほ場観察を行って病害虫の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に薬剤防除を実施してください。

ねぎ

- ・ **アザミウマ類**の発生は、関東、東海及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

発生が多い・やや多いと予想される病害虫及び地域

作物名／病害虫	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
じゃがいも／		
疫病		北東北、東海
キャベツ／		
コナガ	北東北	
たまねぎ／		
アザミウマ類	北関東	
ねぎ／		
アブラムシ類		南関東、北九州
アザミウマ類		関東、東海、北九州

施設栽培

- ・ 気温の上昇に伴い、栽培管理上施設を開放する機会が増えるので、病害虫の施設への侵入及び野外への飛び出しに注意が必要です。
- ・ 施設内が過湿になると病害の発生が助長されるので、施設周辺に排水路を整備して雨水が施設内に入らないように留意し、作物の株間の風通しを図る等、過湿にならないように施設を管理してください。
- ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
また、これらの害虫の発生源となる施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

トマト

- ・ **灰色かび病**の発生は、関東及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿になると発生が助長されるので、作物の株間の通風を図る等により、過湿にならないように施設を管理してください。また、本病の早期発見に努め、適期に薬剤防除を実施してください。

きゅうり

- ・ **べと病**の発生は、近畿の一部地域で「多い」、中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病は、施設内が過湿となると発生が助長されるので、株間の通風を図る等により、過湿にならないように施設を管理してください。また、多発すると防除が困難となるので、施設内の観察により発病を認めた場合は、早期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **アザミウマ類**の発生は、関東の一部地域で「多い」または「やや多い」と予想されます。
本害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での防除を実施してください。

きく

- ・ **アザミウマ類**の発生は、北関東及び東海の一部地域で「多い」と予想されます。また、**ハダニ類**の発生は、北関東の一部地域で「多い」、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
これらの害虫は、発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、早期発見に努め、発生初期での薬剤防除を実施してください。

発生が多い・やや多いと予想される病虫害及び地域

作物名／病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
トマト／		
灰色かび病		関東、中国
アブラムシ類		南関東、北陸
なす／		
コナジラミ類	南関東	南九州
アブラムシ類		南関東、北陸
きゅうり／		
べと病	近畿	中国
アザミウマ類	関東	

アブラムシ類		南関東、北陸
ピーマン／		
うどんこ病	北関東	
いちご／		
アブラムシ類		北陸、北九州
きく／		
アザミウマ類	北関東、東海	
ハダニ類	北関東	東海
白さび病	北陸	近畿、四国
黒斑病		東海、中国
褐斑病		東海、中国

果樹・茶

果樹共通

- ・ **果樹カメムシ類**の発生は、北東北、甲信及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本害虫は、園地周辺の山林から飛来してくるので、例年カメムシ類の被害が多い園地や、山林に隣接した園地では、園内の観察をきめ細かく行ってください。
また、飛来が認められた場合は、飛来初期からの防除を実施してください。
- ・ 東日本大震災の影響等で園地の管理が行えない地域では、病虫害の発生が多くなることが懸念されます。隣接した地域では、園内の観察をきめ細かく行い、病虫害の侵入及び発生に注意してください。

かんきつ

- ・ **かいよう病**の発生は、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、確実に園外で処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
特に、強風による擦れなどの傷口から容易に感染するため、風雨が強まることが予想される場合には、事前に薬剤を散布してください。
- ・ **黒点病**の発生は、中国、北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる枯れ枝は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように、降雨の合間に薬剤防除を実施してください。

りんご

- ・ **腐らん病**の発生は、北東北及び甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、罹病枝の除去、病斑部の削り取りと薬剤塗布を適切に実施してください。また、摘果後の果柄から感染するので腐らん病の発生が多い園地では、摘果終了直後の薬剤散布が防除に有効です。
- ・ **斑点落葉病**の発生は、「平年並」と予想されます。
本病は、降雨時の気温が高く、降雨が続くと発病が助長されます。また、密植や徒長枝により通風や採光が悪いと発病が多くなります。徒長枝の除去等により通風や採光を確保するとともに、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **黒星病**の発生は、南東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉、発病果及び発病した新梢は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように、降雨の合間に薬剤防除を実施してください。

なし

- ・ **黒星病**の発生は、北陸及び東海の一部地域で「多い」、北関東及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる発病葉、発病果及び発病した新梢は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。本病は降雨が続くと発生が助長されるので、天候の推移に注意し、散布間隔が開きすぎないように、降雨の合間に薬剤防除を実施してください。
- ・ **ナシヒメシンクイ**の発生は北陸、南関東及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。
都道府県が発表する発生予察情報を参考に、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。

もも

- ・ **せん孔細菌病**の発生は、甲信、北陸、東海及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
本病の伝染源となる春型枝病斑を形成した枝は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は気孔や傷口から感染し、降雨や強風により発生が助長されるので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **カイガラムシ類**の発生は、甲信、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。
園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて適期に薬剤防除を実施してください。

ぶどう

- ・ **べと病**の発生は、甲信、東海、近畿及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本病の伝染源となる発病葉及び発病果は、除去して園外の土中に埋める等適切に処分してください。また、本病は降雨が続く気温が低めの時に発生しやすいので、天候の推移に注意し、適期に薬剤防除を実施してください。

茶

- ・ **チャノコカクモンハマキ**の発生は、南関東、東海及び近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は、成虫発生最盛日の7～10日後が薬剤防除適期になります。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況を参考に、薬剤防除を実施してください。

- ・ **チャノホソガ**の発生は、南関東及び東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。

本害虫は、萌芽期～開葉期に成虫の発生期が合致すると被害が大きくなる傾向があります。園内の観察をきめ細かく行い、本害虫の発生に応じて新芽の萌芽期から開葉期に、同一系統薬剤の連続使用を避けた上で、薬剤防除を実施してください。

- ・ **チャノミドリヒメヨコバイ**の発生は、南関東及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。また、**チャノキイロアザミウマ**の発生は、南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。

チャノキイロアザミウマは萌芽期頃、チャノミドリヒメヨコバイは開葉期頃が薬剤防除適期になります。新芽生育期にこれらの害虫に加害されると芽の生育が抑制されますので、適期に薬剤防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成23年5月17日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表します。

- ・ 発表なし。

注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
5月20日	三重県	ネギ	シロイチモジヨトウ

5月20日	神奈川県	トマト、ナス	オオタバコガ
5月31日	山梨県	ぶどう	べと病
6月2日	岐阜県	ハウレンソウ	べと病
6月3日	愛知県	ナシ	黒星病
6月3日	愛知県	ぶどう	べと病
6月3日	福島県	モモ	せん孔細菌病
6月3日	和歌山県	カキ	灰色かび病
6月7日	高知県	カンキツ	黒点病
6月9日	北海道	アブラナ科野菜	コナガ
6月14日	秋田県	キャベツ	コナガ

■ 特殊報

新奇な有害動植物を発見した場合及び重要な有害動植物の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
5月20日	福岡県	イチジク	モザイク病
5月24日	岩手県	クロスグリ	スグリコスカシバ
5月31日	福島県	トマト	トマト黄化萎縮病
5月31日	福島県	ダリア	ポテトスピンドルチューバーウイルス
6月1日	茨城県	ニンジン	ホモノハダニ
6月3日	長野県	キク	キク茎えそ病
6月7日	高知県	シシトウ・ピーマン	コミドリチビトビカスミカメ
6月13日	兵庫県	トルコギキョウ	トルコギキョウ葉巻病

■ 用語解説

地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北東北：青森県、岩手県、秋田県
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北関東：茨城県、栃木県、群馬県
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県

- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
- 南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

■ 発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

■ 平成 23 年度病害虫発生予報の発表予定

- 第 1 号：4 月 21 日（木曜日）
- 第 2 号：5 月 19 日（木曜日）
- 第 3 号：6 月 16 日（木曜日）
- 第 4 号：7 月 7 日（木曜日）
- 第 5 号：7 月 21 日（木曜日）
- 第 6 号：8 月 11 日（木曜日）
- 第 7 号：9 月 8 日（木曜日）
- 第 8 号：10 月 6 日（木曜日）
- 第 9 号：11 月 10 日（木曜日）
- 第 10 号：2 月 16 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課
 担当者：防除班 黒谷、後藤
 代表：03-3502-8111（内線 4562）
 ダイヤルイン：03-3502-5976
 FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL
<http://www.maff.go.jp/j/press/>